



名寄市立大学の窓から知への誘い

「確実に知ることは可能か(1)」

保健福祉学部 教養教育部 教授 古牧 徳生

vol.24

哲学はとにかく不評な科目です。それなのに、なぜ名寄市立大学に哲学という科目があるのかと言つと、何であれ知識を追い求めていくと最後は哲学に行き着いてしまつことを知つてもらふためなのです。

皆さんはトチメンボーについて聞いたことがありませんか。「吾輩は猫である」に登場する迷亭が言つところでは、大変な珍味だそうですが、味はもとより材料に至るまで記録は一切ありません。なぜでしょうか。それはトチメンボーなる料理はそもそも存在しないからです。無いものは知りようが



ありません。するとこのことから言えましよう。知識とは存在しているものについての認識である。存在しているものしか我々は知ることができません。では、どのようなものが存在しているのでしょうか。あるいは、ものの在る無しをいかにして判断すればいいのでしょうか。「そんな目で見て、手で触れば分かるじゃないか」と言われま

すか。それなら再度お尋ねします。皆さんは一つ目小僧を見たことがありますか。片目ではありません。一つ目です。私は見たんです。あととしての5月の連休に神奈川

とすれ違ったのですが、なんと一つ目でした。思わず叫びそうになるのを何とかこらえました。驚きで心



臓が飛び出しそうでした。「本当に一つ目小僧っていった。どうしよう、どうしよう」と思っていると…はつと気がつきました。そうです、夢を見ていたんです。このことから次の事が言えます。

「感じているからといって」「その感覚の対象が実際に存在している」とまでは言いきれない。

今あなたが「感じている」としても、それが夢ではないと言えますか。せいぜい言えることは「感じている」といつその実感だけです。ではそうなる、いったい誰の感じ方が正しいのでしょうか。

【来月号に続く】

図書館的話題・パスファインダー

「パスファインダー」とは、何か調べたいときにどんな資料に載っているのかなど、調べ方を案内してくれるものです。事典類はもちろん、図書や雑誌、関連するサイトなど、基本的な学習から発展的な学習へとつながるように、資料を紹介しています。

本学図書館では、作成したパスファインダーをホームページでも公開しています。学生向けなので、福祉・栄養・看護に関するテーマが多いのですが、一般の皆さまも関心のあるテーマがあればご一読ください。

なお、紹介しているパスファインダーのうち、学内専用のものも一部ありますが、ご了承ください。

大学図書館にはこんな本があります

～哲学に関する入門的図書～

- 『哲学ってどんなこと? とっても短い哲学入門』トマス・ネーゲル著、岡本裕一朗ほか訳 昭和堂
- 『哲学のモノサシ』西研 NHK出版
- 『哲学大図鑑』ウィル・バッキンガム 三省堂

- 市立大学図書館休館のお知らせ
12月27日(土)～1月5日(月)
- 問い合わせ 名寄市立大学図書館 ☎01654②4199
本館：内線3114 分館：内線2200

名寄市立大学道北地域研究所 市民公開講座

今、世界で乳幼児の保育が注目されています。保育の場での遊びや、友だちとの交流で育つ、好奇心やコミュニケーションの意欲がとても大事だとわかったからです。

来年4月から始まる「子ども・子育て支援新制度」はそうした豊かな保育を保障するものなのでしょうか。子どもの視点で考えます。

- とき 12月17日(水) 18:00～20:00
- ところ 名寄市立大学 本館3階 321教室
- テーマ 「子どもの視点から子ども・子育て支援新制度を考える」
- 講師 福島大学教授 大宮 勇雄氏
- 参加費 無料(事前申込不要)
- 問い合わせ 名寄市立大学道北地域研究所 ☎01654②4194 (内線2101)

